

# 煙突山の九人

作 いむろいづじ

## 【登場人物】

- 1 石崎 紅（いしざき べに）【女】
  - ・計画の首謀者。地元愛が強い、秘めた熱い思いを持つ。
- 2 神田沢 葵（かんだざわ あおい）
  - ・頭脳明晰、IQ150。PCを使いこなす、計画参謀。
- 3 長根 翠（ながね みどり）【女】
  - ・キャンプ好きのサバイバル少女。しおんの友達。震災で父を亡くす。
- 4 西 琥珀（にし こはく）【男】
  - ・体力自慢の汗っかき男子。
- 5 八木沢 空（やぎさわ そら）【男】
  - ・スーパーゲーマー。ドローンの操作も天下一品。
- 6 藤原 桃（ふじわら もも）
  - ・広報担当。アナウンサーを目指す。
- 7 上村 杏（わむら あんず）【女】
  - ・企画担当。YouTubeチャンネルを管理。
- 8 小山田 向日葵（こやまだ ひまわり）【女】
  - ・料理大好き。将来の夢は大煙突の下でパン屋を開くこと。
- 9 横山 紫苑（よこやま しおん）
  - ・みどりの幼馴染。街を愛する気持ちはあるが、今回の計画には反対

## 【あらすじ】

時は、成和12年。地方にとっては暗黒時代が訪れていた。辺境の都市アンテイクパレスでは、『田舎マジダサイ軍』の支配を受け、成人後は都会へ出ていくことが美德とされ、人口減少の一途をたどっていた。また、名所と言われている建物や施設も、どんどん老朽化のよって取り壊されてきていた。

そんな状況にイライラを募らせていた『FURUSATO大好きクラブ』の面々は、街のシンボリックな存在の『天空の大煙突』取り壊しの報を受けて、一念発起。仲間たち9人とともに、煙突山に立てこもり、大煙突の取り壊し中止を求める。

果たして9人は、街を守ることができるのか。

## ① 宣戦布告

(べに・もも・あんずの巻)

舞台中央には一本の大きな煙突がそびえ立っている。真っ赤なシルエットに、その大きさが映しだされている。その煙突の根元にはごちゃごちゃと何かが積み重なるように置かれている。シルエットのまま、積み重なった物の一部に明かりが当たる。そこには眼鏡をかけた一人の女の子(べに)が、机に両肘をついて、顔の前で両手を組んで、椅子に座っている。べには、姿勢を崩さず、宣言する。

べに 作戦開始。

全員 作戦開始！

勇壮な音楽と共に、ごちゃごちゃの中から、機器の明りがもれだす。少しずつ明るくなってくると、そこには発電機、パソコン、キャンプの調理道具、積み上げられたカップ麺、毛布の山などがある。また、一角には、記者会見が行われるようなパネルが設置されている場所がある。

もも パネルはここで良い？

ひまわり 良い感じじゃない。撮影は、このポジションで…。

ドローンの発着所のようなものもある。そら、ドローンの調整をしている。そこにパソコンをたたきながら、あおいが話しかける。

あおい ドローンとのリンクはできた？。

そら うん。良い感じ。

また、ベットとして使う場所、料理ができる場所、みんなが集まって食事ができる場所など、生活感がある空間もできつつある。みどりとはくがタープ(雨除け用の幕)を設置するために、ポールを立てようとしている。

みどり ちゃんと持ってよ。

こはく わかってるよ。

みどり あんたのとりえは、こついった力仕事でしょ。

こはく まかせとけて！

ひまわり、エプロンを付けて、箱からステンレスのボールにジャガイモを取り出し、食事の準備を始める。

ひまわり おなががすいちゃあ、いくさはできぬ！どンドン、こはん作るから  
ね！今日は、カレーで良いかな。

こはく おれ、10杯食うから。

ひまわり お代わりは一回だけ！

こはく 良いよ。じゃあ、洗面器に盛るから。(ニヤリ)

ひまわり、「まったくもう。」という表情をする。

パソコンのモニター画面から、顔が映しだされているあおいが、あんずに指示を出す。

あおい ネット接続完了。配信準備は？

あんず スタジオの準備はばっちり！もちろんOK？

もも、スタジオの前にマイクを持って立つ。

もも いつでもいいよ！

あおい 良い？

あおい、べにの方を向いて聞く。べに、うなづく。

あおい 宣戦布告！配信スタート。

あんず 配信スタート！

スタジオの場所に明かりがつく。ももが中央に立っている。あんずが、スマホを設置して、その隣に立つ。

もも はい、どうも。天空の大煙突に立てこもっている『FURUSATO  
大好きクラブ』の、『ピーチ姫』こと『ぶじわらもも』でえす。

あんず このチャンネルの管理人の『すっぱい娘』こと、『わむらあんず』でえす。

もも ってか、本名言っちゃって良いの？

あんず いいの、いいの。本気で戦うって気持ちを伝えるために、本名で配信しちやいます！

もも ってなわけで、これから『センセソフコク』っていうものをやってみたいと思います。

あんず はい。やってみたいと思います。ってか、『センセンフコク』って何？  
もも そんなことも、知らないの？『センセン』を『フコク』することに、  
来まってるじゃん。

あんず はい、はい、難しいことなので、視聴しているみんなにきちんと伝わ  
るように、今回の計画の首謀者、『赤い水性のシャープペン』こと、『いし  
ざきべに』がお伝えします。

もも ってか、水性のシャープペンって何？それも赤？  
あんず まあまあ…。

もも 突っ込みどころ満載なんですけど！  
あんず でも、覚えちゃいますよね。『赤い水性のシャープペン』。  
もも はい、ってなわけで、べにちゃんお願いしまあす！

べに、ステージに登壇する。

べに わたしたちは、この街が大好きです。未来もあると思っています。こ  
の街の未来をあきらめて、街の消滅を受け入れている『田舎マジダサイ  
軍』の皆さんのやり方には、うんざりしています。

あんず べに、カッコいい！

べに 先日、私たちが今いる場所、ここ、街のシンボルである『天空の大煙  
突』を取り壊すという知らせが、市民に向けて軍から一方的にありまし

た。議会の審議も無しに、老朽化したからという一方的な見解です。到  
底納得のいくことはありません。

あおい そくそくするねえ。静かな怒りのヒートアップ！  
べに 話し合いもできない、私たちの意見も聞いてもらえない状況が続く  
中、この街を守るために、私たちが取ることができる方法は一つしかあ  
りませんでした。私たちは、サイレントマジョリティ・声なき同意者で

あることから、決別けつべつします。

あおい さあ、行くよ！

全員、スタジオの場所に集まる。

べに 私たち『FURUSATO大好きクラブ』の小学生は、『田舎マジダサ  
イ軍』のやり方に物申すために、ここ、『天空の大煙突』を本陣ほんじんとして、  
街の未来を守るため、戦いを挑いどみます。『宣戦布告』せんせんぷこくです！

全員 『センセンフコク』です！

ポーズを決めた8人が、派手な音楽と明りの中で浮かび上がる。

あおい 決まった！

べに 私たちの願いは、以下の二つです。ひとつ！

全員 ひとつ。

べに 街のことを決めるときには、みんなの意見を聞くこと！

全員 みんなの意見を聞くこと！

べに ひとつ。

全員 ひとつ！

べに 街の未来をあきらめないこと。

全員 街の未来をあきらめないこと！

…これは、もちろん全世界に配信されています。民主的ではない方法  
で、私たちの要求を、ひねりつぶそうというものなら、他国たこくの軍が放っ

ておかないことをご承知しやうちください。回答は（明日の朝7時まで）に。回  
答があるまで、私たちは、ここ『天空の大煙突』に立てこもっています。

べに、自分の机に戻る。全員、それぞれの持ち場に配置する。

あんず ってなわけで、チャンネル登録よろしくお願いします。  
もも 以上、『FURUSATO大好きクラブ』でした！

そら はい、配信終了。

配信が終わる。あおい、クールに総括をする。

あおい なかなかいい出来だった…。

みどり べに、カッコいいし！

ひまわり ねえねえ、何で、二つ目も、一つなの？

こはく わかんねえよ。日本語って難しいな…。

あんず ヤフー知恵袋で調べてみたら？  
ちえばぐ

ひまわり ええっ。何て検索すれば良いの？  
けんさく

もも 私、良かったかな？

あんず 良かった。良かった。

もも スカウト来るかな？

べに この戦いが終わったらね。

もも えっ。戦い始まるの？

あおい 『宣戦布告』っていうのは、これからあなたと戦いますって知らせること。

もも ええっ。そうなの？みんな知ってたの？

あんず まあね。たぶん（多分知らない。）

あおい 逃げにたくなったら、逃にげても構わないからね。ねえ。

べに 好きにすれば。

ひまわり 覚悟かくこはできているわ。何でも来いって感じ！

べに 何かあったら、私が責任せきにんを取るから。

みどり えっ。

べに それが、私の務めつとめ。

あんず べに、カッコいい！

あおい これからが、本番。気を引き締めてやってくよ。  
し

全員 おう！

## ②これは『センソウ』？

(あおいの巻)

みどり、なにか落ち着かなくなって、ももに話しかける。

みどり 戦争をして本当に良かったのかなあ。

もも えっ。これって『センソウ』なの？

こはく 戦っているんだから、センソウっちゃ、戦争だな。

みどり 戦争って、どんなことがあってもしちやいけないって、おばあちゃんが言っていた。

ひまわり そうだね。

みどり そんなことをしても良いのかな？

あおい 戦争って。正義と正義のぶつかり合いなんだ。

あんず 正義と正義のぶつかり合い。

あおい 自分たちが正しいことを伝えようとすると、相手とぶつかることもある。

そら それが戦争。

べに … 私たちは、戦うけど、人はあやめない。それは、絶対…。

もも えっ。

べに 本当にしちやいけないことは、戦うことではなくて。

ひまわり 戦うことじゃあなくて。

べに 人を殺してしまうこと。

全員 ……。

あおい 戦争はダメだけど、自分たちに都合で『セイサイ』といって、人を殺めあやてしまうことは良いの？。私は、それは違うと思う。

ひまわり 『セイサイ』。テレビでよく聞くね。

あおい 言い方を変えているだけで、人を殺めちゃうのは同じね。

べに 私は、こう思う。…戦争がダメなんじゃなくて、人を殺めることがダメなんだ。

あおい 日本が戦争をしていた時もそう。都合が良いような言葉を使って、自分たちは、正しいことをしてるから、みんなで力を合わせようと言って、戦争に反対する人をつかまえていた。そして、その人たちを…。

べに 人を殺めてはいけない。それはわかってるから、私たちは、ぜったい人を死なせるようなことはしない。

こはく その通りだ。人を死なせちゃいけない！

べに 相手が自分の考えと違う時、無視をしたり、相手を痛めつけたりして、

自分の考えに従わせる。そのやり方は間違っている。その、やり方、考え方とわたしたちは戦う。

みどり いじめといっしょだね。

あんず えっ。

みどり いじめは戦争なんだ。

そら 僕たちは、いつも見えない何かと戦ってきている。今、やっていることは目に見えているだけで、僕たちはずっと目には見えないものと、戦っていたんだ。そして、自分とも…。

みどり これは、『田舎マジダサイ軍』との戦いなんだけど、自分との戦いでもあるんだね。

もも 自分との戦い。

こはく 自分との戦い…。

べに 勝ち抜くよ。

全員 おう！

非常回転灯が光る。ウィーン、ウィーンと警報が鳴る。

全員に、緊張感が走る。

あおい 侵入者確認。

そら ドローン飛ばして偵察する？

こはく 良いよ、おれ、行ってみる。

もも 一人じゃ危ないよ。

みどり じゃあ、私も。

そら 俺も行くよ。

ひまわり 仕方ないわね。私も行くよ。

みどり、ひまわり、こはく、そら、会場の方に向う。4人はピンスポットで追われる。

### ③ それぞれの思い (みどりといまわりの巻)



歩きながら、みどりはひまわりに話しかける。

みどり ひまちゃんは、なんで今回参加することにしたの。

ひまわり この煙突が大好きだから。

みどり そうなんだ。

ひまわり ちっやいころさ、この煙突の下にはパン工場があって、ジャムおじさんが住んでいるって本気で思っていた。

みどり へええ。

ひまわり そうじゃないって知ってがっかりしたけど、じゃあ、自分がここでパン屋始めれば良いって思ったんだ。煙突が無いパン工場って、パン工場じゃないよね。だから、

みどり だから？

ひまわり 煙突は無くさないでほしいと思った。ごめんね、そんなくだらないことで。

みどり そんなことはないよ。

ひまわり みどりちゃんは、どうして参加したの。

みどり 母さんがね。父さんの思い出話をするときに、いつも煙突のことを話すんだ。

ひまわり へええ。

みどり 父さんは、私がまだお母さんのお腹の中にいるときに震災で死んじゃったんだけど、母さんが父さんの話をするときには煙突が出てくるから、いつの間にかこの煙突が私にとっての父さんになってしまっていた。それだけ。

ひまわり ごめんね。

みどり 何が。

ひまわり 辛い話をさせてしまったね。

みどり ううん。別に。父さんがいないのは当たり前だから、別につらいと思っただけ。別に。父さんがいないのは当たり前だから、別に。私に辛い思いをさせないで、いつも明るくくらししてる、母さんには感謝しなきゃって思ってる。

男子二人、神妙についてきている。

こはく 何、泣いてんだよ。

そら 泣いてねえし。

こはく 家族って色々なんだな。

そら そうだな。何の気なしに普通に暮らしていることに感謝しなきゃな。  
こはく 普通ってすごいことなんだな。  
そら ああ。

#### ④ 煙突山の九人目 (しおんVSそらの巻)

歩いていた4人の前に、一人の少女（しおん）が現れる。

しおんは、親<sup>した</sup>し気な目でみどりを見る。

しおん やあ、みどり

現れたしおんにみどりが気づく。

みどり しおん。

ひまわり 知り合い？

みどり うん。保育園から一緒<sup>いっしょ</sup>の友達。

4人の中に安心した空気が流れる。

しおん まったく、無茶なことをしてくれるんだから。  
みどり 来てくれると信じていた。

しおん まあね。幼馴染<sup>おさななじみ</sup>だしね。

みどり ありがとう。じゃあ、

しおん あなたたちの考えに賛同<sup>さんどう</sup>したから来たわけじゃないよ。

みどり えっ。

しおん まったく…。

そら 敵<sup>てき</sup>？

ひまわり、そら、こはく、身構<sup>みがま</sup>える。

しおん このまちをどうしようというわけ。

みどり 私たちは、この街を良くしようと思ってる。

しおん 冷静に考えてみてよ。あんたたちがしていることに生産性せいさんせいがあると思

う？

そら セイサンセイ？

しおん そう。生産性。子どもの力で、政治を動かすことが本当にできるとでも思っているの？

みどり できるにきまつてるでしょう。ねえ。

そら できないかもしれない。

みどり えっ。

そら できないかもしれないけれども、覚悟かくこはできている。

しおん 覚悟かくこ？

そら ぼくはこの街が好きだから、この計画に参加した。この街を大切にした

いから、行動を共にした。まだ、小学生だけど、小学生としての魂たましいをか

けて、この街を守りたいと思って行動した。

しおん それを聞きたかった。

みどり えっ。

しおん あそび半分なんじゃないかなあって思っていた。

こはく あそび半分でなんか、こんなことできるか！俺たちは本気でやってるんだ。

ひまわり そういうこと。私たちは本気で街の未来を考えているの。

みどり しおん。わかってくれた？

しおん、軽くうなずく。

みどり ありがとう。

しおん …私もここにのこることにする。

みどり やったあ。さすがしおん！

しおん でも、勘違いかんちがしないで。あなたたちのやっていることが良いと思っ  
ているからここに残るんじゃないから。

こはく どういうことだよ。

しおん 私もこの街が好きなき持ちは同じ。でも、『センソウ』をすることは、正しいとは思わない。あなたたちのやり方は間違っている。

みどり しおん…。

しおん 街の守り方にはもっと別の方法もあるんじゃない。

そら やっぱり敵か…。

みどり 友達だと思っていたのに。

しおん 友達だよ。

みどり えっ。

しおん 友達だと思っているから来たんじゃない。いいね、いいねって、一緒にいるグループの人たちの機嫌だけを取って、間違ったことだとわかっていても、断り切れずに一緒にやってしまう。それで本当に良いの？

そら 同調圧力どうしあひからいかってやつだ。

しおん 私は、おかしな考えを持って君臨くんりんするチームリーダーから、幼馴染のみどりを助けに来た。そして、みんなを…。

ひまわり おかしな考えのチームリーダー…。

そら べにのこと…。

しおん 目をさましなよ。リーダーが怖こわくて、仲間から外されると何をされるのか怖くて、みんなついてきちゃったんじゃないの。こんなことをしても、良いことはないよ。もっと違う方法で、この街をよくする方法はあるよ。ひまわり べには、そんな子じゃない。わたしは、仲間から外されるのが怖くて、ここにいるんじゃない。べにが好きだから。そして、この街が好きだから、ここにいるの。

ひまわり、しゃがみ込んで泣き出す。

そこへ、べにが現れる。

しおん 親分登場おやぶんね。

こはく だから、そういうんじゃないねって！

しおん 初めまして、みどりの友達の、よこやましおんといいます。お会いできて光栄です。

べに どうも。(べに、表情を変えない)

しおん あなたがリーダーなんだね。

べに リーダーって言ったなら、そうなのかもね。何かあったら、ぜひ、私の責任。

しおん なかなかの覚悟ですね。

べに もちろん。

こはく ケンカ売りに来たのか？

そら ぼくたちの計画をつぶしに来たのなら、帰ってもらいたい。

ひまわり そうだ。帰ってよ。

しおん わたしは、みどりを連れ戻しに来た。それが第一目的！

しおん、みどりのそばに歩み寄っていく。

しおん みどり。目を覚ましなよ。このままでいいの？

みどり わたしは…。わたしは…。

しおん わたしと帰ろう。

みどり ……。

しおん こんなやつと言いなりになることはないよ。

みどり わたしは……………。

みどり、頭をかかえてうずくまる。

べに 好きにすれば。

みどり えっ。

べに 好きにすれば…。

べに、立ち去って行く。

しおん みどり、行くよ。

みどり えっ。

しおん みどりが、この街の自然が大好きで、大煙突が大好きで、守りたいって

思っているのはよくわかる。でも、『センソウ』は違うんじゃないの？

みどり でも。

しおん わたしと、ここの連中とどっちが大事なの！

同調圧力！

そら それ、それ。

しおん えっ。

そら　今、おまえが一番いやがっていることを、こいつにしている。自分の考えを押しつけて、自分に従わせようとしている。

しおん　えっ。

そら　ああ、ごめん、ごめん。きみだけを責めてるわけじゃないの。自分の言っていることと、やっていることが矛盾しているのに、正義感をふりかざして、他人の気持ちを考えないで押し通す人って世の中に多いからしおん　押し通すって。

そら　そんな、母さんいるだろう。そんな、先生、いるだろう。クラスにもそんな空気を悪くするやついるだろう。

しおん　……。

そら、みどりに向かって話す。

そら　おまえの考えがこいつの考えと同じだと思ったら、一緒に山を下りればいい。ベには、言葉のくさりでここにいる仲間を縛ったりはしない。だから、好きにしろって言ってもどって行っただ……。好きにしろ……。

そら、去る。

しおんとみどりを中心に、4人が取り残される。

自分はどうしたいか、逡巡する（考えをめぐらせる）4人。

まわりを見回して、どうしたらいいかわからないこはく。

ひざを抱えて天を見上げているひまわり。

立ったまま、どうしていいかわからずイライラしているしおん。

みどりはしおんに、むきあったまま、立ち尽くしている。

しおん　みど……。

みどり　…行かない。

しおん　……。

みどり　わたしは行かないよ。

しおん　……。

みどり　わたしはべにが怖くてここにいるわけじゃない。ここから出ていったって、何も言われるわけじゃない。わたしは、ここに居たいからここにいる。大煙突を守りたいからここにいる。

しおん　……。

みどり　わたしのことを思ってここに来てくれたしおんには感謝してるよ。し

おんは、ずっと友達だと思ってるよ。でも、私はここにいる。誰から言われたからじゃなくて、わたしがそう決めたから。

みどり、優しい強い目でしおんを見つめ返す。

しおん …わたしも、

みどり ……。

しおん わたしも、ここにいる。

みどり えっ。

しおん 本当に力ずくで、みどりをここにいさせようとしていないのなら、どんな考えだって受け入れてくれるチームなら、私だってここにいても良いはず。そうじゃない。

みどり そう、…だけど。

しおん じゃあ、ここにいる。本当に正しいことをしようとしているのか、見極めるために…。

全員、表情が緩む。

みどり しおん連れて行って、良いのかな。

ひまわり 良いんじゃない。

こはく 良いと思うよ。

ひまわり あまり、歓迎はしないけどね。

こはく 俺の飯の分は分けてやらないからな。

4人の中では打ち解けた雰囲気ふんいきが広がり、そろって山頂さんちようの方へ向かう。

## ⑤ 煙突山に九人

偵察隊ていさつたいがしおんを連れて煙突山に戻ってくる。

もも おや、新入りさん？

あんず メンバーが増えて、また、にぎやかになるねえ

そら 歓迎される メンバーじゃない。  
あんず えっ？

あおい 別に良いんじゃない。人はそれぞれ、生まれ育った環境が違えば、考え方も違うのは当たり前。ここに来たっていうことは、それなりの覚悟があつて来たんでしょから。

みどり それはそうだけど…。

あおい べには何て言っていたの。

ひまわり 『好きにすれば』って。

あおい やっぱりね。

しおん 招かれざる客って感じね。当たり前だけど。

もも よろしくね。

あんず おしゃべり得意そうね。一緒に配信担当する？

もも いいねえ。

## ◎『田舎ダサイ軍』の攻撃 (こはくがんばるの巻)

と、そこへ、

『ヒュウウウウッ。』

何かが飛んでくる音が聞こえる。

ドン！何かが煙突にぶつかった。

みんなのところに白いカケラがパラパラとぶってきた。

あおい、そら、まずはパソコンを守る。

ひまわり いやああ。攻撃してきたあ！死んじゃう死んじゃう！

こはく 大丈夫だ。みんなと飯は俺が守る。

ひまわり カッコいい！

もも どうやって守るの？

こはく 飯は、食べられなくなる前に、みんな食べてやる。

あんず 人は？

こはく 人？

あんず 人はどうやって守るの？

こはく がんばって！

もも がんばって？

こはく がんばって、守る。こはくって、こはくって…。



こはく、手を広げて、反復横跳びをする。

あんず 気持ちはありがたいけど、それで守れるとは、思わないね…。

そこに、あおいとべにが現れる。

あおい 攻撃？

そら そんな感じ。

こはく (しおんの方をあごでさし) こいつ、ここにいてよ。  
べに 好きにすれば…。

みんな、下の方を向いたまま、ニヤツとする。

あおい 状況は？

あんず ええっと、煙突に何かがぶつかった感じ。

もも こわれたものは無いね。

そら 攻撃は、小山田の方面から一発。おっと、また来た。

『ひゅうううう。』

また、煙突に当たる。

しおん 本当に攻撃してくるんだ。

あおい 大人げないよね。大人のくせに。

『ひゅうううう。』

三度目も、煙突に当たる。

しおん 怖くないの？

こはく そりゃあ、怖いさ。でも、がんばる！

あおい 心配しないで、威嚇いかくだけだね。怖がらせようとしているだけ。

そら 本当に当てる、僕らをどうにかしようという気は無いね。

ひまわり そりゃあ、けがをさせたらダメだからね。

べに 窮鼠きゆうしゅねい猫を噛むか。追い込まれたら、何をしてるか分からないから、用心

しなきゃ。

あおい ラジャー。

## ⑦ 反撃

あおい 反撃してもいい。

べに 良いよ。

あおい 作戦は？

べに Bプラン。

あおい ラジャー。Bプラン。そら、出番だよ。

そら ラジャー。おう、楽しみ！

ひまわり 何、何。向こうを攻撃するの。

みどり ケガさせたりはしないよね。

そら 大丈夫。人をあやめない。それは、俺たちの戦いの鉄則だ。心配しない。

みどり だったら、良いけど…。

もも 何、何、なにをするの？

そら ドローンで火をつけたバクチクを飛ばして、敵の頭の上でバンバン鳴らす。

こはく 面白ええ。俺もやる！

みどり そんなことしても良いの？

あおい 大丈夫、事前に警察に申請して許可取ってるから。しんせい きょか

こはく 『タタカイ』なのに、抜け目ねえ！ぬ め

あんず じゃあ、私たちは中継するから。

そらはドローンの用意、こはくとみどり・ひまわりはバクチクの用意、あんずとももは中継の準備をする。あおい、カタカタとパソコンの操作をする。べに、机のある椅子に座り、両手を顔の前で組んでその様子を見る。(音楽…戦闘の曲)

こはく バクチク準備OK！

そら ドローン準備OK！

あおい PCとドローンの同期確認。

あんず 配信準備OK！

べに 戦闘開始！

全員 戦闘開始！

こはく、バクチクの導火線に火をつける仕草。そら、コントローラーでドローンを操作。あんずともも、中継に入る。

あんず というわけで、攻撃を受けてしまったので、『FURUSATO大好きクラブ』もだまってるわけにはいきません。

もも そう、だまっていられませんか。

あんず それでどんな攻撃をするかというと、

もも するかというと。

あんず ここではちょっと言えませんが。

もも あっ、とりあえずカウントダウンが入りました。

あんず はい、行きます。5・4・3・2・1。

『バババババ』というバクチクの鳴る音が広がる。

『うわああ』という、大人の驚く声が聞こえる。

あんず というわけで、今回の攻撃はバクチクを鳴らすのBプランが正解でした。

もも いつから、クイズ番組になったのよ。

あんず まあ、いいから、いいから。以上、煙突山からでした！

もも 当たると危険なものは、投げてこないでくださいね。

配信が終了すると、全員ハイタッチをする。何気に、しおんも静かにハイタッチの輪に入っている。

みどり これで、危険な攻撃はしばらくしてこないだろうね。

こはく 油断は禁物だね。

あおい そら、ドローンをちょっと傾けて。相手の様子をカメラで見えるから。そら ラジャー！

そら、コントローラーを操作する。

あおい 何か、次の作戦をするみたい。

こはく 大丈夫、俺たちは強い！

ひまわり 油断禁物って、自分で言ったばかりじゃない。

こはく そうでした。

こはく、頭をかく。

## ⑧ 親の説得という心理攻撃 (こはく・ひまわりの巻)

『あくあく聞こえますか。聞こえますか。本日は晴天なり。本日は晴天なり。って、今日はあまりいい天気ではないですなあ。』

街の方向から、スピーカーを調節している音が聞こえてくる。

ひまわり 何の音。

こはく 何かしゃべっているけど。何だろう。

大音量のスピーカーから、こはくの母の声が聞こえてくる。

『良いんですか。話しますよ…。こらあ、こはく、聞こえてる。火遊びしちゃダメでしょ！おねしよするよ。あんたね、いい加減にして山を下りてきなさい。皆さんにご迷惑をおかけして、申し訳ないと思わないの。晩御飯抜きだからね！』

こはく げげっ。母ちゃんだ。

そら 親を連れてきて説得されることはもう想定済み。

あおい 大音量のスピーカーで投降をうながすなんて、今時やるっ？やるんことが昭和でしょう。

もも こんなことでは揺るがないんだからね！

こはく 夕飯抜きだっってどうしよう…！

みどり ってか、すでに、相手の思うつぼじゃん。

べに 夕飯が大事だったら、帰っていいよ。…好きにすれば。

こはく はっ。そうだ。ここには食料は十分にあるんだ。夕飯をぬきにされたって、困ることはない！ははははは、そんなことではだまされないぞー！

そら …基本は、食べ物があるか無いかなんだね…。

こはく 人は食べなきゃ生きていけない。大事だよ。

ひまわり その通り！

今度は、人物を替えてひまわりの母の声が聞こえてくる。

『ひまわり、聞こえてる。』

ひまわり 母さんだ。

『何が不満だったの？母さんがあなたの悩みを受け止めてあげられなかったのが、いけなかったのね。ごめんなさい。』

あおい ムチの攻撃に代わって、今度は、アメ攻撃か。なかなか、良いところを突いてくるね。

（『アメとムチ』：甘いあつかいをしたり、きびしくしたりして、相手を取り入れる方法）

ひまわり 大丈夫。母さんは大事だけど、そんなことでは、ゆるがないよ！

『今度ね、キッチンのリフォームしようと思ってるの。あなたが料理をしやすいよう、今夜、業者の方と相談をしようと思っているの。だから、山から下りていらっしやい。』

ひまわり キッチンを私が使いやすいようにリフォーム！その相談が、今晚！

ひまわり、ひざがぐんとなつてよろめく。

あんず かんぺきにツボ。ハートをいぬかれてる。

あおい 目先のことだけに気持ちが行って、未来を見える目を無くしたから、街がどんどんさびれてきているんじゃない。

そら その通り。

べに でも、自分の身の回りのことってとても大事だよね…。

あおい 好きにすれば。

べに ……。

あおい ごめん。一回、私もやってみたかったの。

べに、自分のせりふを取られたが、『もう仕方ないね、好きにすれば』の表情をしている。あおい、クールなおちやめな面をちょっと見せてしまう。

ひまわり はっ。そうだった。私ったら、バカバカバカ！キッチンが大事なんじゃない。食材が大事なんだ！

もも そっちの方が大事なんかあーい！

子どもたちは、次は自分かとわくわくした表情を浮かべて待つ。あおいは下を向いて悲しい表情をしている。次の放送はない。

もも あれえっ。終わり。つまんないの。

あんず 全員やってくれると思ってたのに。

べに 他の子の家も自分の家と同じと考えちゃだめだよ。  
もも えっ。

べに 親がない人、家が安心な場所じゃない人、色々いるんだよ。

あんず そうなんだ。そこまで考えられなかった。

もも まずは、親を巻き込むことが最小限で良かったってことにしようね。  
あんず そうだね。

あおい、そっとべにのそばに寄ってきてつぶやく。

あおい ありがとう。

べに あおいのためだけに言ったことじゃないよ…。

（あおいの家はどんな家庭なのか、想像しよう。そして、他のメンバについても考えてみよう。）

## ◎ 一発逆転 しおんの決断 （しおんの巻）

べに それでは、こちらからも反撃しますか。

そら 国の方針で、学校でネットを駆使して学んでいる、令和の子どもたちの実

力を思い知るがいい！

みどり ちょっと、悪者っぽい言い方だよ。

そら あっ。ごめん。

あおい 市内のパソコンの電源を強制オン。

そら 配信するアドレスを強制表示。

あおい 環境は整ったよ。べに！

べに 今は、わたしじゃない。

みどり えっ。

べに わたしよりも、きちんと伝えられる人がいる。

べに、 しおんを見る。

しおん わたし？

べに そう。お願いできる。

あおい えっ。

みどり でも、しおんは、私たちの活動には反対だったんじゃない？。

べに 思いは一緒。

しおん ……。

べに 心が通じ合えるのは、時間が重要なんじゃない。

しおん ……。

べに 一瞬でも、本音でぶつかり合える時間があること。やってくれる…。

しおん …今でもあなたたちがしていることは間違っていると思うている。

でも…。

もも でも。

しおん この街が好きだという気持ちは同じ。

みどり しおん…。

しおん この街を守りたいという思いは一緒。話をさせてもらっても良い？

ひまわり 良いの。

あんず 何を言っかわからないよ。

もも この子を信じていいの？

あおい 良いに決まってるじゃん。

あおい、視線<sup>しせん</sup>だけをべにに投げかけ、答えをうながす。

べに、当然のように、微笑<sup>ほほえ</sup>みを浮かべて答える。

べに 好きにすれば。

全員、笑顔でうなずき、配信の準備を始める。

しおんは中継施設の前に立ち、その両端にはもも、あんずが立つ。

あおい 準備は良い？

もも もちろん。

あんず OK！

そら ドローンの準備もOK！

あおい あなたは（しおんに）

しおん もちろん。

そら 配信開始。

あおい 配信開始！

スクリーンに、しおん、もも、あんずが映しだされる。その中心に立っているしおんにカメラが寄ってゆく。

しおん わたしは、後からこの山に入りました。このバカげた『タタカイ』をやめさせるためです。今でも、ここに立てこもっている人たちのやっていることはまちがっていると思っています。でも、ここに来てわかったことが一つあります。そうでもしなければならぬほど、追い詰められていたということです。大人たちのみなさん、もっと本気で、この街の未来を考えてください。私たち子どもが生きる未来をそまつに考えないでください。未来には何を残せばいいか、自分たちだけじゃなくて、こどもたちともいっしょに考えてください。子どもたちもなっとくして進んでいける未来なら、きっと、きっと、希望にみちあふれたものになるはずですから。

配信が終わる。

そら おっと、『いいね』がウナギのぼり。

あおい グッジョブ！

べに 信じて良かった。

その時、舞台全体に多数の青い直線状の光が交錯し、水の音が響き渡る。子どもたちは、多量の水を浴びている。

こはく 何だよ。何すんだよ！



あんず …やだ！…水かけないでよ。

ひまわり …息が…できなよ。

もも …苦しい、苦しい、死んじゃう。死んじゃう。

みどり 何、話し合いで解決しようって気持ちは無いの！

あおい やり方が最後まで昭和ね。

そら 仕方ないよ。相手は昭和の人たちだもん。

しおん 仲間になってくれてありがとう。悔くいはないよ。

べに こちらこそ、仲間になってくれてありがとう。

べにとしおんが舞台中央で握手をする。

会場背後はごいから、大人の男の人の声。

『突入！』『わあああああ。』

くずれおちる煙突山の九人。

暗転

## ⑩ 街の未来

こはくとそらが舞台の中央に立つ。

こはく こうして僕たちのタタカイは終わった。

そら この時点では、僕たちは満足していた。

こはく やりきったという気持ちでいっぱいだった。

そら 僕たちのしたことが正しかったのかどうかは今のところわからない。

こはく 次の時代の人たちがこの出来事を語りついで

そら 僕たちのタタカイが正しかったかどうか決めてくれるだろう。

こはくとそらの周りまわに、ひまわり、みどり、もも、あんず、あおい、しおん、べに がゆっくり自分の台詞にあわせて現れる。

あおい これからもわたしたちはどうしようもない出来事にぶつかるかもしれない。

みどり 自分の力だけではどうしようもないことが起こるかもしれない。

もも　　なやんで、なやんで、くるしむことだってあるかもしれない。  
あんず　そんなときは、煙突山で一緒にたたかったことを思い出して  
ひまわり　9人の仲間のことを思い出して…。  
しおん　自分の気持ちに素直に、生きていこう。  
（べに以外の8人）　生きていこう！  
べに　好きにすれば。

音楽カッティン。

不敵な笑みを浮かべる9人。

雑然と重なっていた、煙突基地の中央からまばゆい光が広がり、回転するスモークの中に、9人のシルエットが浮かび上がる。

高揚する音楽が9人を包み込み、9人はまぼろしのようにゆがんだ空間の中に消えてゆく。

終  
演